

！ 分詞に引き続き、不定詞も、動詞が他の品詞に変化することを学ぶ単元です。まずは、動詞が形容詞に変化するタイプの不定詞を勉強しますが、不定詞の形の形容詞は必ず2語以上の形容詞なので、名詞の後ろに置きます。

## 不定詞 1

○ 動詞の前に to をつけると「~のための」という形容詞に変化する。

形容詞 ( 名詞を修飾することば )

使い方 ( be 動詞の後ろに置く (不定詞にこの使い方はない) )

( 名詞にくっつける )

！ 不定詞は必ず2語以上からなる形容詞です

ただし、be 動詞の後ろに置く使い方はしません。 ！

○ 次の単語群を並び替えて日本文の意味を表す英文にしなさい。

・ 私は勉強するための部屋が欲しい。(the /want /room /study /I /to).

まず、主語、動詞を特定する。 → 私は 欲しい  
主語 動詞

目的語である、「勉強するための部屋」は「勉強するための」という形容詞と「部屋」という名詞の部分に区別できる。

「部屋」+「勉強するための」という語順で並べる。

I want the room to study.

・ 彼らは食べるための鶏を飼っている。(keep /eat /to /hen /a /they).

・ 寝るための部屋は広い。(is /to /the /sleep /large /room).

主語は「寝るための部屋」であるからここから書き始める。

「部屋」+「寝るための」が主語である。

The room to sleep is large.

・ それは(複数形にする)走るための靴だ。(to /are /run /shoes /they).

## 中学生英語文法

- ・ ここはピアノを弾くための部屋だ。

- 
- ・ 私たちは電車で食べるためのお弁当を買った。 お弁当 lunchbox

- 
- ・ 彼らは家で使うための辞書を探している。 探す look for

- 
- ・ 走っている犬が水を飲むための河を見つけた。 見つける find(過 found)  
「走っている犬」は分詞を使って書く。

A running dog found a river to drink water.

- 
- ・ 二匹の猫がネズミを捕まえるための場所を探していた。 ネズミ mouse  
「探していた」の部分の時制を注意する。

Two cats were looking for the place to catch mice.

- 
- ・ 私たちは一緒に英語を勉強できる友達が欲しい。  
「一緒に勉強できる友達」は「一緒に勉強できるための友達」と理解する。

We want some friends to study English together.

- 
- ・ そこで星を見るための望遠鏡を持ってきたさい。 望遠鏡 telescope  
「命令文」です。

Bring a telescope to watch stars there.

- 
- ・ 一緒にお酒を飲むためのバーを探しましょう。 お酒を飲む drink  
バー bar

- 
- ・ 部屋で本を読んでいる男の人が単語を調べるための辞書を使っている。  
(単語を) 調べる → look up

主語から特定する「部屋で本を読んでいる男の人」から書く

「男の人」+「部屋で本を読んでいる」の語順から書き始める。

目的語である「単語を調べるための辞書」は

「辞書」+「単語を調べるための」の語順で書く。

The man reading a book in the room is using the dictionary to look up words.